

クローズアップ・ユニオン

北 労 生

北海道電力労働組合（ほくでんユニオン）

（本部：〒060-0042 札幌市中央区大通西 16 丁目

北海道勤労文化会館内TEL011-642-4510）

北海道電力労働組合（略称：ほくでんユニオン）は、昭和22年発足の日本電気産業労働組合を前身とし、昭和28年に結成、時代の変化を見据えた運動を進め、平成10年に組織統一を図り現在の体制となっています。

また、上部団体である北海道電力関連産業労働組合総連合（道電力総連）において中心的な役割を果たすとともに、全国電力関連産業労働組合総連合（電力総連）にも加盟する組合員約5,100名の労働組合です。

「民主的労働運動」を基本とし、安全最優先、コンプライアンスの徹底をはじめ職場を原点とした組織運営等を進め、生産性三原則である①雇用の維持拡大、②労使の協力と協議、③成果の公正な分配、も併せた活動を展開しています。加えて、NPO法人「北海道ファミリーハウス（重い病気をもち付き添いを必要とするご家族に滞在施設情報を提供するボランティア団体）」の賛助会員募集や、「ダルニー奨学金（タイ・ラオス・カンボジアの子供たちを支援する教育里親支援制度）」の支援を行うとともに、平成20年には福祉車両（車いす移動車）の寄贈を行うなど社会貢献活動にも力を入れています。一方、北海道を面で捉えた電力の安定供給を担う労働組合としてその責任は重く、道民生活に欠かすことのできないエネルギーセキュリティの確保や供給信頼度の維持などが求められています。

今後においても、組合員は基より地域から信頼され存在価値のある団体としてまた、社会を構成する一員として更なる活動の充実を図っていきます。